

広域幹線道路ネットワークの整備

平成30年7月

【担当省庁】国土交通省

■京奈和自動車道大和北道路

(仮称)奈良北IC～(仮称)奈良IC H30年度新規事業化

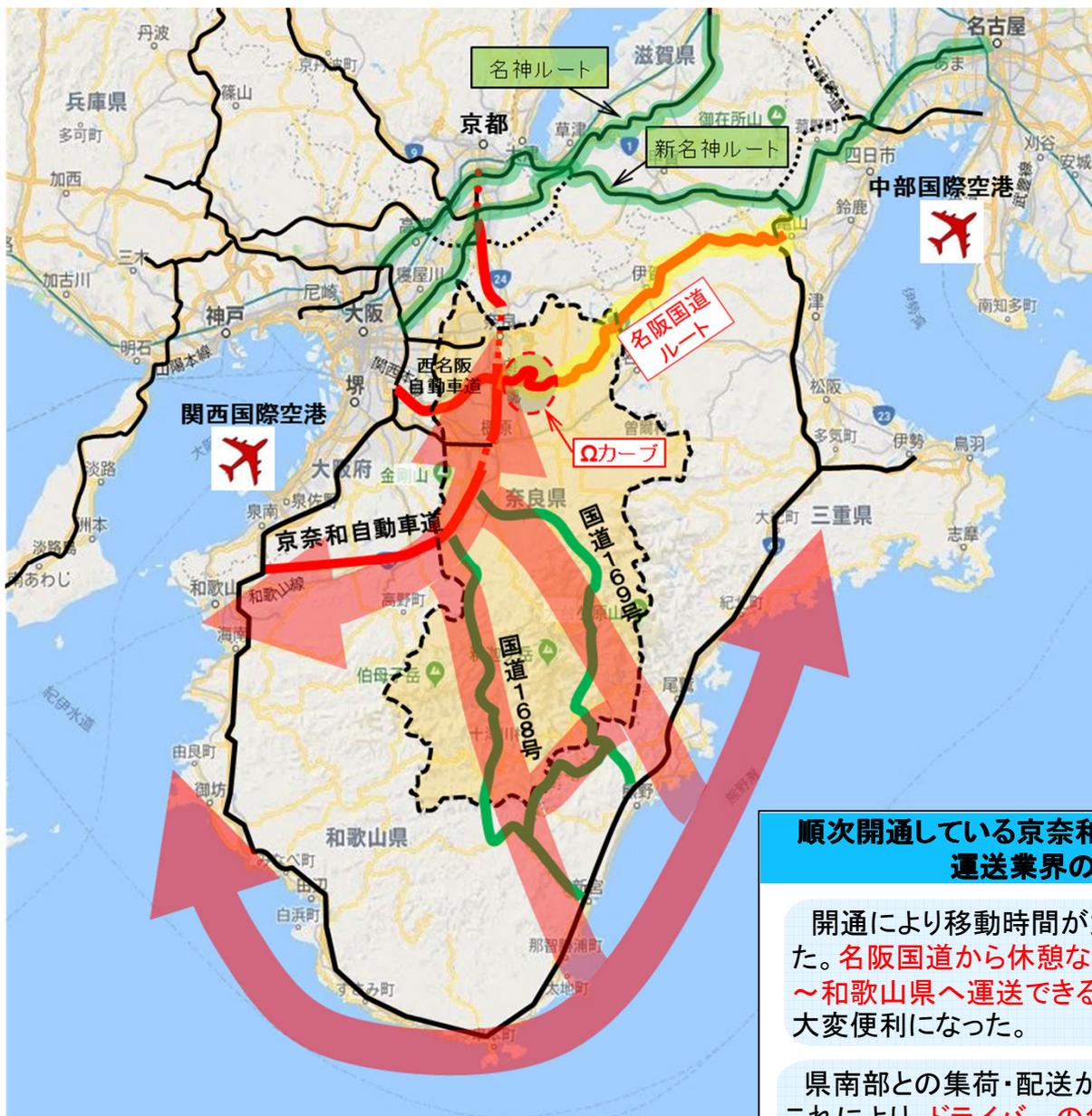
(仮称)奈良北IC～郡山下ツ道JCT 「合併施行方式」による平成30年度の新規事業化



■国道168号五條新宮道路(地域高規格道路)

新天辻工区 平成30年度新規事業採択

■社会資本整備総合交付金の平成30年度当初予算について、
ご配慮いただいたこと、心より感謝



順次開通している京奈和自動車道への 運送業界の声

開通により移動時間が大幅に短縮された。**名阪国道から休憩なしで奈良県南部～和歌山県へ運送できるルート**ができ、大変便利になった。

県南部との集荷・配送が効率化された。これにより、**ドライバーの負担軽減や、速達性、定時性の強化によるサービスの質の向上**が見込まれる。

国にお願いすること

■ 重要物流道路制度の創設を契機とした新たな広域道路ネットワークの構築

県の将来ビジョンを踏まえ、直轄管理区間はもとより紀伊半島アンカールート等についても重要物流道路等の広域道路ネットワークの重点整備を図ること。

- 1 京奈和自動車道(大和北道路、大和御所道路)
- 2 国道168号 五條新宮道路〔地域高規格道路〕
十津川道路(Ⅱ期)の権限代行による早期事業化、阪本工区、新天辻工区の予算確保
- 3 国道169号伯母峯峠道路 等

■ 道路関係予算の確保

- ① 当初予算の総額拡大
- ② 補正予算の早期編成(用途を限定しない)

【奈良県における取組】

- 道路整備基本計画(H26~H31)を策定し、道路政策の最重要課題として「骨格幹線道路ネットワークの形成」を位置づけ、京奈和自動車道などの骨格幹線道路を整備
- 次期基本計画(H31~36)では、目的志向の考えの中で、まちづくりや観光振興に資する道路整備を計画的かつ効率的に取り組む

